



あくなき創造で持続可能な社会を

株主の皆さまへのご報告

# 第69期中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日



サトーグループをより詳しく  
ご理解いただくために——



<http://www.sato.co.jp/>



## トップメッセージ



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当中間期の連結業績は全体としてほぼ計画通りに進捗し、売上高565億円(前年同期比103.0%)、営業利益33億円(同130.8%)、経常利益32億円(同134.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益19億円(同79.6%\*)となりました。

自動認識ソリューション事業は、海外事業、日本事業ともに好調を維持し、増収増益となりました。将来の事業の柱として戦略投資を行っているIDP事業は、研究開発が計画通りに進捗しております。

サトーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO

小龍 龍太郎

### ▶ 自動認識ソリューション事業 (海外)

海外事業は、全体的に回復基調を維持し、増収増益となりました。海外の各地域で戦略商品のCLNXシリーズの販売を軸に、お客さまの現場運用を改善する「コト(ソリューション)売り」の提供が順調に進みました。米州は、北米における前年同期の大口商談や、南米の経済低迷の影響を受けて減収減益となりましたが、ロシアOkil社を含む欧州、アジア・オセアニアの各地域は売上を順調に伸ばし、増収増益となりました。

### ▶ 自動認識ソリューション事業 (日本)

市場全体として、人手不足を背景とした生産性の向上や現場の可視化、自動化ニーズが顕在化していることや、食品市場やヘルスケア市場では表示制度の変更へのニーズなどの需要が高まっています。こうした外部環境の中、営業現場でのお客さまのお困りごとに的確に対応したことが

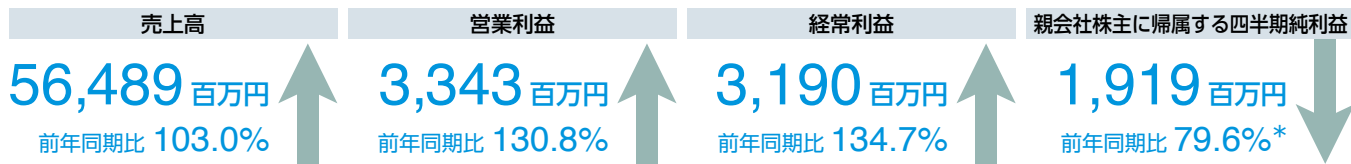
奏功しています。

日本各地で発生した自然災害に伴い、これまでの増収基調に一時的な減速がみられたものの、プリンタを中心とするメカトロ製品の販売が全体をけん引し、売上・利益ともに計画を上回る結果となりました。今後、さらに高度化のお客さまそれぞれの現場課題に対し、ソリューション提案力を一層強化し、安定的な事業の成長を目指します。

### ▶ IDP事業

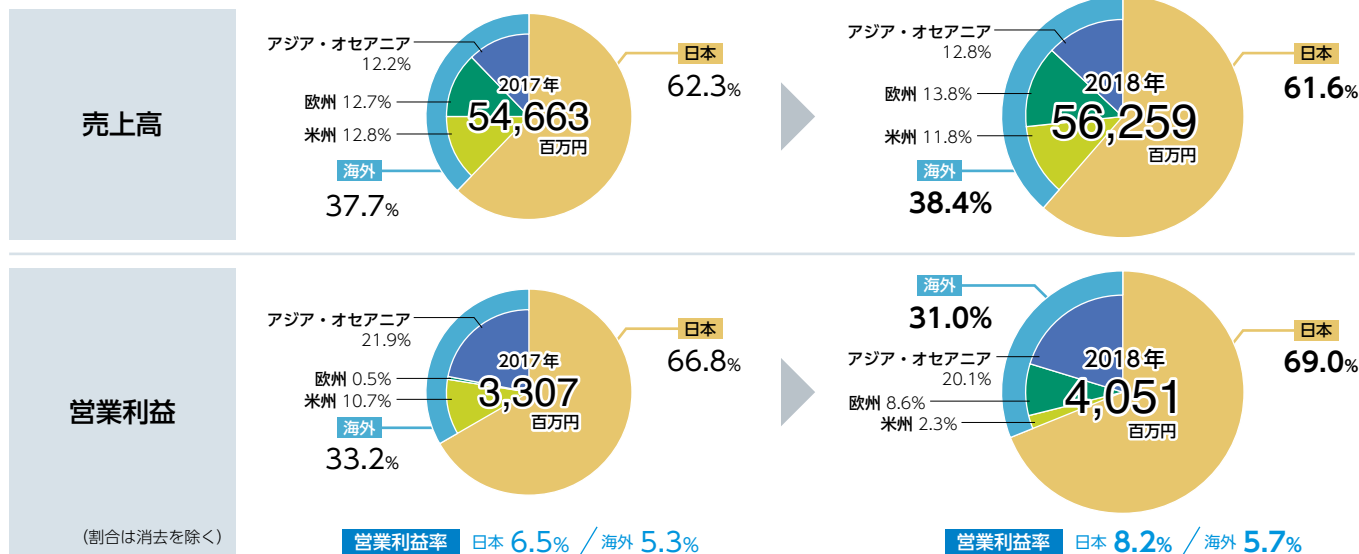
「インライン・デジタル・プリンティング(IDP)」技術を軸としたIDP事業は、先行技術に関する研究開発を計画通りに推し進めています。すでに商業化されているベースビジネスも売上が順調に伸長しています。2020年度の黒字化を目指し、既存事業とのシナジー創出に向けた具体的な取り組みを開始しています。

## ▶ 2018年度中間期の業績



\* 前年同期において、固定資産売却に伴う特別利益 2,726 百万円を計上

## ▶ 自動認識ソリューション事業 地域別売上高及び営業利益構成比 (上期)

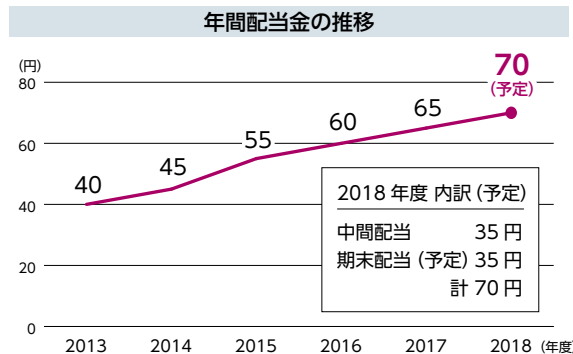


## ▶ 配当金

2018年度は5円増配し年間70円(当中間期35円、期末35円)の配当とする予定です。当社は企業理念の一つである「四者還元」ののっとり、安定的かつ継続的に増配することを株主還元方針の基本とし、資本生産性を高め、株主価値の向上を目指しています。

下期以降も、引き続き中期経営計画の施策を速やかに実行に移し、通期業績計画の達成に向け全社を挙げてまい進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、末永くご支援賜りますよう、宜しく願い申し上げます。





## 第69期前半(4月～9月)の主なトピックス

5月



リリース

阪急電鉄(株)が、訪日外国人向け多言語アナウンスサービス「AmiVoice® TransGuide」を全線の主要駅に導入し、訪日外国人の乗り換えミス削減などに貢献、お客さまサービスが向上しました。

7月



リリース

サトーヘルスケア(株)が医療機関の手術用医療材料をRFIDで全品管理するシステムを構築、大阪国際がんセンターにて試験導入を開始しました。



イベント

第10回販促EXPO夏(販促業界日本最大の商談専門展)に出展しました。



イベント

国際モダンホスピタルショウ2018(国内最大級の医療関連製品サービスの展示会)に出展しました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

6月

リリース

サトーヘルスケア(株)と(株)マイクロ・テクニカが共同で世界初となる独自の医薬品偽造防止マーキングシステム「Kiispot」を開発しました。



イベント

FOOMA JAPAN 2018(国際食品工業展)に出展しました。



イベント

第31回インターフェックスジャパン(医薬・化粧品業界の日本最大の専門技術展)に出展しました。



各トピックスの詳細は当社ホームページをご覧ください。

サトーホールディングス トピックス

検索

<http://www.sato.co.jp/topics/>

ホテル  
業界初!

リリース

## リゾートトラスト(株)が運営するリゾートホテルで、 ワインの在庫管理に特殊なRFIDを活用し、棚卸しの大幅な効率化を実現!



リゾートトラスト(株)が運営する完全会員制のリゾートホテル「東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」における全てのワインの商品在庫管理向けに、RFIDのシステムを(株)サトーが受注しました。これまで東京ベイコート倶楽部では、和食・洋食・イタリアン・中国料理の各レストラン、バーやラウンジなどの館内施設で提供する約5,000本のボトルワインを棚卸しする際、ソムリエがワインを一本一本棚から慎重に取り出し、棚卸し実績を購入システムに手入力していました。RFIDの導入後は複数のボトルを非接触で同時に読み取ることができ、読み取り結果は購買システムに自動記録できるため、大幅な時短効果が出ています。国内ホテル業界における初の取り組みであり、これにより現場の在庫管理の精度が高まり、スタッフによる棚卸し作業が大幅に効率化されました。

コメント



リゾートトラスト(株) 東京ベイコート倶楽部 料飲部部長 相原 克彦 氏

内部統制の強化も目的にRFIDを導入しました。将来は棚卸し、在庫管理の透明性を担保しつつ、RFIDの特性を生かしてワインリストのタブレット化を計画しています。実現できれば業務のペーパーレス化と短時間でワイン在庫の更新が両立でき、顧客への対応スピードの迅速化や従業員の作業時間の短縮化が実現できます。導入の投資効果がより高まることを期待しています。



ボトルに巻き付けるバックル型のRFIDを開発



## 9月

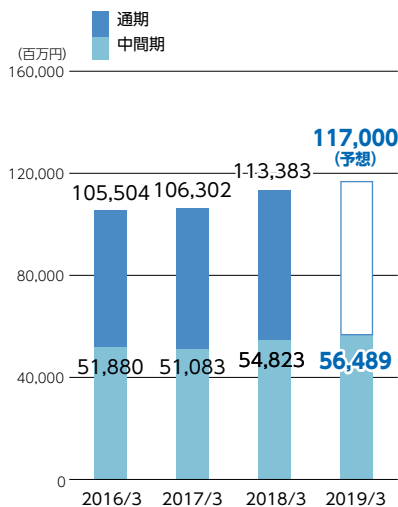
イベント

### ● 第20回自動認識総合展・国際物流総合展2018に出展

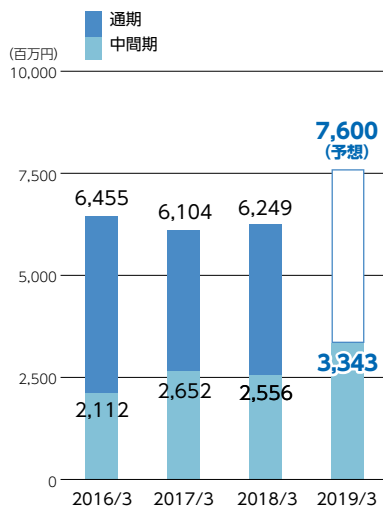
自動認識総合展では、RFIDの特性を体験できるコーナーを、国際物流総合展では、倉庫の積載効率の向上と商品の探しやすさを両立させた、世界初の仕組みを展示しました。

# 財務ハイライト

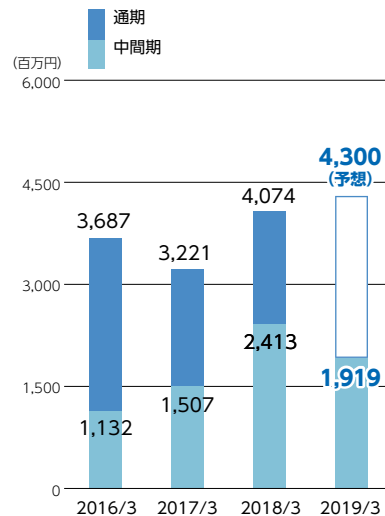
## 売上高



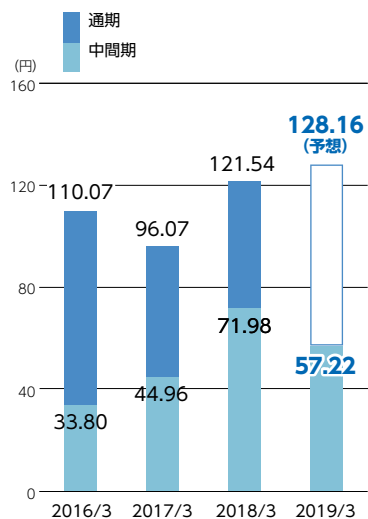
## 営業利益



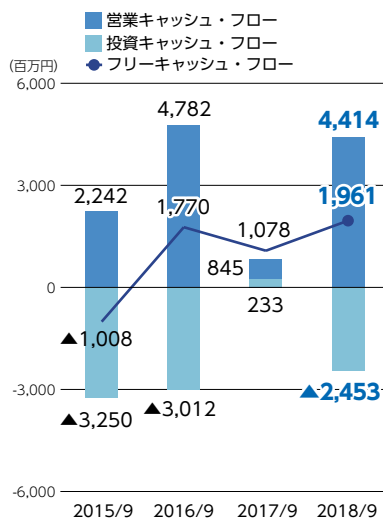
## 親会社株主に帰属する当期純利益



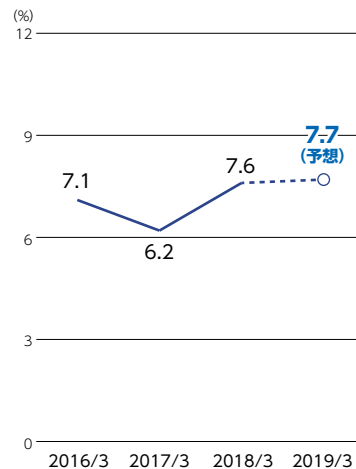
## 1株当たり当期純利益



## 中間キャッシュ・フロー



## ROE (自己資本当期純利益率)



\* 連結子会社における会計基準の変更があったため、過年度の決算数値を遡及修正しております。

# 会社情報・株式情報 (2018年9月30日現在)

## 会社情報

商号	サトーホールディングス株式会社 SATO HOLDINGS CORPORATION
本社所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒一丁目7番1号
創業	1940年(昭和15年)
設立	1951年(昭和26年)
資本金	8,468百万円
決算期	3月31日
連結従業員数	5,235名
連結売上高	565億円(2019年3月期第2四半期) (ご参考) 1,134億円(2018年3月期)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は、毎年9月30日)
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6287)

### (ご注意)

- 住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。お取引されている証券会社等にお問い合わせください。
- 【特別口座】に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り次ぎ致します。
- 未受領の配当金の支払請求につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行(株)にお申し出ください。

## 株式情報

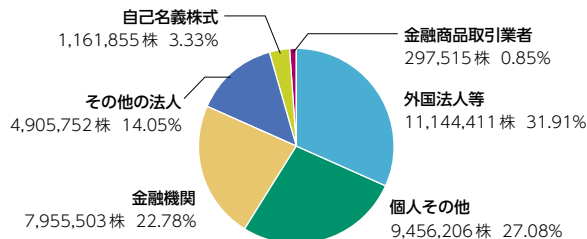
発行可能株式総数	80,000,000株	株主総数	7,534名
発行済株式の総数	34,921,242株		

## 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団	37,862	11.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,468	6.06
GOVERNMENT OF NORWAY	15,692	4.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	13,315	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,623	3.73
サトー社員持株会	11,299	3.34
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	10,541	3.12
THE BANK OF NEW YORK 133524	9,633	2.85
横井 美恵子	9,001	2.66
佐藤 静江	8,974	2.65

(注) 当社は、自己株式(1,161,855株)を保有しておりますが、上記大株主から控除しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式(1,161,855株)には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式(195,833株)を含んでおりません。  
大株主について、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の所有株式については、従来どおり合算(名寄せ)して表示しておりますが、その他については、株主名簿の記載どおりに表示しております。

## 所有株数別株式分布



その他の詳しい情報については、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.sato.co.jp/company/>



# お客様の現場を止めない サトーグループのトータルソリューション

製造や物流の現場では、工場や倉庫のラインが停止すると商品の生産や出荷ができず、大きな損失につながる場合があります。サトーグループは、営業がお客様の現場に赴き課題を抽出し、円滑なビジネス環境を構築するためのソリューションを提案します。商品導入後は、専門スタッフによる保守サポートのほか、IoT技術を用いてプリンタの稼働状況を24時間遠隔で見守る「SOS(サトーオンラインサービス)」で、突然の機器停止を未然に防ぎます。サトーグループは、お客様の現場の安定稼働を支援するトータルソリューションを提供しています。



現場を止めない  
課題解決型の営業

現場の困ったをその場で解決する  
ヘルプデスク

専門スタッフが現場に駆け付ける  
保守サポート

IoTの活用で現場を止めない  
「SOS」

プリンタの稼働状況を  
24時間365日遠隔で見守ります。